

# 文芸 さくらがわ

## 俳句

【大和俳句愛好会】

名月や小窓を明けて夜もすがら

鈴木 ふみい

童唄ひと目ふた目と毛糸編む

古橋 益子

引出の帳簿見直す年の暮

安達 幸子

火渡りの文化を継承ぐ冬至祭

岩淵 のぶ子

笑ひ初む嬰に癒さるる賜日和

田中 はつひ

道標は旧村のまま芒原

皆川 和子

打ち合はせ済みしおでんの鍋かこむ

田代 てい子

子に思いひたすら勤労感謝の日

鈴木 登美子

冬日濃しふとんのぬくみ心満つ

代田 とし

ちらほらと咲くが美し帰り花

鈴木 つぎ

【一般投稿】

朝日より夕日親しく吊し柿

木下 善信

## 短歌

【花の室 木崎集】

なにこともなかつたやうなしづかなる陽ざしにむきて鎖す窓窓

塚田 沙玲

中秋の光辿りてこの水惑星に齡六十恙無く生く

大久保 まさ子

未曾有なる二十一大地震を日記に記す三月十一日

櫻井 ハル子

大地震に心裂けたる空白く日輪の光を両手に掬ふ

塩谷 明子

健気なる被災の人の言の葉に胸に突きあぐ熱きかたまり

鈴木 とみ

大正の叔父の肖像モノクロに 今やカメラは世界を写す

塚本 幸子

蔵はみな大地震に耐え堂堂とただそれだけで頑張る わたし

西岡 和子

融解だ、いや溶解だマスコミは密に群がる真夜の昆虫

野村 幸男

校庭に声あげ走る子らの背をセシウムヨウ素突き抜けていく

深谷 快子

【吾瀬短歌会】

半壊の母屋を離れ此の秋はかたへの虫の音聞きて過しぬ

大関 にち子

震災は東に西は台風と分けた災害神か現象か

飯田 良江

気がかりの仕事なし終へ歩む庭白々と咲く夕顔の花 古賀 澄

歩き方悪しきが靴の内側の磨り減りし数多下駄箱の中 大久保 富美江

大鋸屑を重機のごとく押し上げて眠りに入りぬ雄カブト虫 泉 三郎

あまりにも厳しき残暑に学校の屋内にての運動会とは 山田 しげの

風評の愁ひも薄れ村中の稲田は急に刈り入れ始む 萩原 きのの

朝の雨に湿りて町の屋根瓦みな冷えびえと秋めく光り 鈴木 美津子

トンネルを出づれば我が郷桜川黄金波打つ稲田広ごる 片岡 喜知子

【吾瀬秋歌会】  
夫の手を借りず紫蘇扱く夕つ方秋風立ちて法師蟬啼く 安達 悦子

手をとりに語り合ひつつ歩む老い紅葉をうつす鬼怒の清流 安達 すみ子

姑あらば共に食さむ香る菊手折りて今朝も供ふ仏前 大関 節子

曼珠沙華真つ赤に燃ゆる山裾の夏草わけて秋風のゆく 角田 玉枝

稲刈りし峡田の畔に陽を集め炎立つがに曼珠沙華の花 坪井 ゆき子

刈り入れを終へし田ん圃の傍へには秋風に揺るるコスモスの花 長谷川 玲子

病院の渡り廊下に迎へ待つ雨はしとどに心ゆれつつ 石川 喜代

### 広報 さくらがわ 有料広告募集!

- サイズ 1 枠 29mm×85mm、2 枠 29mm×172mm
- 掲載料 (月額) 1 枠 10,000 円、2 枠 20,000 円 ※連続掲載で割引制度があります。
- 問合先 秘書広報課 ☎58-5111-75-3111、内線1268

### 広報 さくらがわ 有料広告募集!

- サイズ 1 枠 29mm×85mm、2 枠 29mm×172mm
- 掲載料 (月額) 1 枠 10,000 円、2 枠 20,000 円 ※連続掲載で割引制度があります。
- 問合先 秘書広報課 ☎58-5111-75-3111、内線1268